

令和5年参考集計について

復元倍率の算出には、毎月勤労統計調査の月末常用労働者数（毎年6月及び12月）を使用しています。毎月勤労統計調査では、令和6年1月調査において母集団情報の更新作業（ベンチマーク更新）を行い、前年同期比については、ベンチマーク更新の影響を取り除いて比較するため、令和5年調査結果について当時の公表値でなく、ベンチマーク更新を考慮した「参考値」と当年の値から算出しています。

他方、「令和6年雇用動向調査結果の概況」6ページ以降の令和5年のデータは当時の公表値を掲載していることから、令和6年のデータと単純に比較するに当たっては注意を要します。

ここでは、本調査において、令和5年の復元に用いた毎月勤労統計調査の月末常用労働者数（令和5年6月調査及び12月調査）について、上記の「参考値」に置き換えて復元し集計した主な結果を、参考集計として掲載しています。